

『尿酸と肝臓の関係』

肝臓川柳 『脂肪肝 関連あるのか？ 尿酸でしょう』



(尿酸でしょう…にようさんでしょう…どうなんでしょう…)

※ちょっと強引ですが

▼「尿酸とは」

窒素代謝の最終産物であり、通常動物では尿酸オキシターゼ(ウリカーゼ)という酵素によりさらに分解されるのですが、ヒトやチンパンジーではこの酵素がなく、尿酸が貯まってしまいます。

▼「実は・・・」

尿酸そのものに強い抗酸化作用があり、ヒトは尿酸を抗酸化物質として利用しているのですが、多すぎると結晶化し、痛風や腎障害などの原因になります。

▼「高尿酸血症(7mg/dl以上)は・・・」

過栄養や運動不足やインシュリン抵抗性などのいわゆる生活習慣が大きな原因とされ、メタボリック症候群との関連が強いのです。

▼「肝臓では・・・」

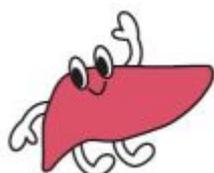
脂肪肝の患者さんに大変多く合併しています。また慢性肝炎の進行にも高尿酸血症が関わっていると言われています。

▼「今回・・・」

金沢大学との共同研究で、逆に、脂肪肝患者さんの高尿酸血症を尿酸降下剤(フェブリック)で下げることによって脂肪肝が改善するかどうか!?の検討を行うことになりました。脂肪肝と尿酸の直接の関連はまだ詳しく分かっていませんが、尿酸が肝障害(脂肪肝)の原因か?結果なのか?を明らかにする一つの検討として大変注目を浴びています。

▼「今後・・・」

脂肪肝(脂肪肝炎)の新規薬剤の治験が開始される予定もあり、いよいよ生活習慣病としての肝臓病の研究や治療が一気に進んできそうです。



これだけ覚えておけば損はない!

今回のポイント

インターフェロンを使用しない経口抗ウイルス剤2剤併用療法が注目されていますが、ついに当院でも9月下旬より経口2剤療法の治験が始まりました。副作用は重篤なものはほとんどなく、効果はきわめて高い夢のような治療です。実際に使用可能となるのは、3年後くらいかと思われますし、特に発がんリスクの高い、今治療が必要なC型肝炎患者さんは、現在可能な3剤療法を始めとした治療でウイルス駆除や肝炎抑制を行い、肝がん発生阻止を目指すべきだと思います。

(文: 福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ッ俣和夫)